

令和7年度文化財保護事業計画

1 文化財保護審議会（年1回開催）

「清須市文化財保護条例」（平成17年7月7日条例第85号）、「清須市文化財保護条例施行規則」（平成17年7月7日教育委員会規則第31号）に基づいて設置。

2 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

- (1) 収集・保存
 - ① 寄贈文化財関係資料の受け入れ
 - ② 収蔵品の修繕
- (2) 調査・研究
 - ① 収蔵資料の整理
 - ② 資料室の整理
 - ③ 埋蔵文化財の調査

3 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産（埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等）の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

(1) 歴史資料展示室における資料の公開

- ・開室日数 図書館開館日に準ずる他、展示準備期間等除く
- ・展示内容

① 企画展「清須の軌跡—村から市へ—」

- ・会 期 令和6年4月19日（土）～11月30日（日）
- ・内 容 市制20周年を記念し、所蔵資料から、主に昭和時代の旧4町を特徴づける資料を文献資料や民具、写真など幅広いジャンルで展示するとともに、高度経済成長期の資料も併せて展示し、各町のあゆみやその時代のくらしを紹介する。

② 企画展「(仮) 高木家文書からみる清須の幕末・明治維新」

- ・会 期 令和7年12月～3月
- ・内 容 令和6年に高木家から寄贈を受けた、江戸城無血開城時の記録などが記された戊辰戦争従軍関係資料を手がかりに、清須の幕末から明治初頭にかけての市所蔵資料を展示し、当時の世相やこの地域との関わりを紹介する。

※例年は3回で開催。令和7年度は、20周年事業に沿った期間で①の企画展を開催するため2回実施。

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

・会 場 清洲市民センター 3階302視聴覚室等

回	期日	内容	講師（敬称略）
1	R7. 6. 26	名古屋広小路物語～広小路の誕生、都心の形成、そして名古屋のメインストリートへ～	OASIS都市研究所 代表 杉野 尚夫
2	R7. 7. 24	深掘り！あいち朝日遺跡ミュージアム企画展「虫のおしらせ」	あいち朝日遺跡ミュージアム 学芸員
3	R7. 8. 28	織豊期清須の交通について	刈谷市歴史博物館 学芸員 山下 智也
4	R7. 9. 25	比べる！尾張と三河の戦国時代～清洲城下町遺跡と野添遺跡(豊橋市)の比較から～	愛知県埋蔵文化財センター 調査研究主事 田中 良

② 歴史に関する講演会（清須市制20周年事業）

- ・講演名 「桶狭間の戦いと信長・清須（仮）」
- ・講師 小和田 哲男氏（静岡大学名誉教授）
- ・期 日 令和7年9月20日（土）
- ・会 場 春日公民館

③ 古文書講座

- ・テーマ 「初めて読む古文書講座」
- ・講師 毛利孝一氏（元西枇杷島町文化財調査委員）
- ・期 日 令和7年11月20日（木）、12月18日（木）
令和8年1月15日（木）、2月19日（木）（予定）
- ・会 場 清洲市民センター 302視聴覚室
- ・内 容 初めて古文書に触れる方が、仮名文字や数字など基礎的な内容から学び、地元に関する古文書を読むことで地域の歴史に触れる。

④ サタデーキッズクラブ

「朝日遺跡探検隊」

- ・期 日 未定
- ・場 所 あいち朝日遺跡ミュージアム
- ・内 容 朝日遺跡を探検する。

(3) 文化財関係刊行物の販売

(4) 歴史文化振興事業

資料調査、写真・フィルム等のデータ化、収蔵資料の台帳作成・データベース化

4 施設管理・運営

各方面からの寄贈によって集まった貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

西枇杷島問屋記念館

- ・開館日数 308日（休館57日）を予定
- ・展示の充実を図る。

5 指定文化財補助

市指定文化財（個人等管理）に対し、修理・管理・公開について補助する。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財（山車）
- (2) 管理費補助 ① 有形文化財
② 有形民俗文化財（山車）
- (3) 公開費補助 ① 有形民俗文化財（山車）（尾張西枇杷島まつり）
② その他